

## 農地地すべり巡視員 辞令交付式

～今年度もよろしくお願ひします！～

平成31年4月11日(木)に農地地すべり巡視員 辞令交付式が行われました。

農地地すべり巡視員は、農地地すべり防止区域を適正に管理することを目的に、日常点検と豪雨や地震等発生時の緊急点検をお願いしている方々です。

今年度も安全第一で、農地、農村施設等の安全の為、よろしくお願ひいたします。



※農地地すべり防止区域とは

現に地すべりが発生しているか、または、恐れのある区域とこれに隣接する土地の地すべりを誘発し、助長する恐れのある区域で、土地改良法に規定する土地改良事業が施工されている地域又は、同法の規定により土地改良事業計画の決定されている地域(これらの地域に準ずべき地域を含む)の存する地すべり地域又ははばた山。

この度の人事異動により、4代目NN・REIKOが引き続き皆さまへ庄内の農業農村整備の『旬』をお伝えして参ります。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

## 春の農作業

～田んぼの代かきがはじまりました～



ゴールデンウィークの4月29日はとても天気の良い日でした。  
田んぼの代かきの様子と鳥海山の雪解けの様子を撮影しました。



～GWイベント！～



令和元年5月3日～5日の3日間、鶴岡市由良『海テラスゆら磯の風』にて、ゴールデンウィークイベントが開催されました。

数量限定の「鯛の造井&鯛茶漬」は早くも完売。好天の中多くのお客さんで賑わいました。



『海テラスゆら磯の風』は、由良地域を元気に！と組織した由良自治会活性化委員会の活動拠点として、市の協力を得て改修した施設です。

地域の良さを知ってもらい、また訪れてほしい、そんなおもてなしの心といきいきした笑顔あふれる『海テラス』。

自分たちができることから少しずつ、地域の思いをひとつに歩み始めました。

由良海岸は釣堀も大盛況！！



## 田植えと孟宗掘り体験

### ～水土里ネットいなば「田んぼの学校」～



毎年様々なイベントを企画・運営してきた、水土里ネットいなばの「田んぼの学校」は今年で17年目。

5月12日(日)に、水土里ネットいなば主催の田んぼの学校「田植え & 孟宗掘り体験」が開催されました。

田植え体験は水土里ネットいなばの近くで、孟宗掘りは鶴岡市添川まで足を延ばして行いました。



田植えの様子



孟宗掘りの様子



クイズ大会の様子

体験会、クイズ大会の他に美味しいお昼ご飯も食べて充実した一日となりました。

## 暮坪棚田で田植え

### ～県内で唯一海が見える棚田「暮坪」～



5月12日(日)に、山形県内で唯一海が見える棚田「暮坪」で田植えが行われました。



みんなで一斉に田植え



ベテランは早い！

暮坪の棚田は、やまがたの棚田20選になっており棚田から眺める日本海は絶景です。  
みなさんぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 庄内町家根合で田植え体験

### ～めだかの里米水田～



5月20日(月)に、庄内町家根合の「めだかの里米水田」で、庄内町立余目小学校4年生約40名と地域の方々が一緒に田植えを行いました。

最上川土地改良区の方から、田んぼの水はどこから来るのか？をクイズ形式で解説してもらい、児童たちは元気よくクイズに答えていました。



その後に、みんなで田植えを行いました。



4人1組で型付け



一斉に田植え

庄内町家根合地域では、ほ場整備事業をきっかけに、小学校と地域が一緒になってメダカの保全や環境学習、農業体験を行っています。

これからも、小学生、地域の活動を応援していきます。

### ～環境配慮の為に～



5月31日(金)に遊佐町大楯地区で、生き物調査を行いました。

この生き物調査は、大楯地区で実施されるほ場整備において、環境配慮対策を検討するために必要な基礎データを得ることを目的に行いました。

地区の方々、土地改良区職員など18名が2班に分かれ、山形県環境アドバイザーの水野氏にも御協力いただき調査しました。



調査した水路には、オタマジャクシやマドジョウ、カワニナなどたくさんの種類、数の生き物がいました。今回の調査結果をもとに、環境に配慮したほ場整備を実施できるよう検討していきます。

608回 ～めだかの里米水田～



6月4日(火)に、庄内町家根合地域のめだかの里米水田で、家根合地域の子供たち11名によりめだかの放流が行われました。



放流するめだか



一斉にめだかを放流

今回放流しためだかは約300匹。

7月には、田んぼのめだかを排水路から自然に帰し、一部はみんなで捕獲し、めだか池に戻します。

めだかは、6月に産卵し、500倍に増えることもあるそうです。



## 大鳥池の雪囲い外し

### 609回 ～雨の中頑張りました～

6月24日(月)に、庄内総合支庁農村計画課・整備課の職員と、庄内赤川土地改良区の職員で、鶴岡市旧朝日村の大鳥池の雪囲い外しなどを行いました。

大鳥池は、昭和9年、赤川の農業用水を安定的に確保するために、吐出口にゲートを設置し、114万トンの農業用水を貯水するため池として整備され、渇水により赤川の流量が不足した時に開門し、農業用水を補う「最後の頼み水」としての役割を果たしています。

大鳥池の施設点検は、池付近の雪解け後から始まり、今回は、雪囲いを外し、登山道にもなっている堰堤に手すりを設置しました。



雪が残る中登山



手すり設置



雪囲い外し作業



滑らないように下山

作業途中から雨に見舞われ、下山中もあいにくの雨降りでした。

7月～9月は、月に1回定期巡回を行い、10月に今回外した雪囲いの設置と、手すりの撤去を行います。

10月にいく時は晴れますように。。。

### 610回 ～用水を守る施設～



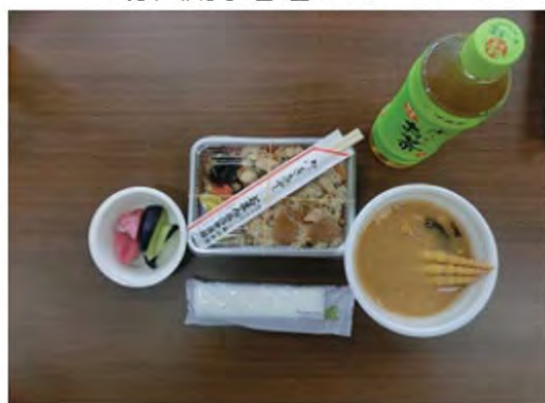
6月28日(金)に開催された、庄内赤川土地改良区 管内研修に参加し、土地改良施設巡りを行いました。



赤川用水管理センター



本田分水工



お昼はおいしい孟宗汁



赤川頭首工をバックに集合写真

あいにくの降雨により、楽しみにしていた朝日の山奥にある天保堰を見ることができず、残念でしたが、他の歴史ある施設や、CCTVカメラ、遠隔操作が可能な施設などの最新技術を見ることができ、いい機会となりました。

## いなば田んぼの学校施設見学 & カヌー体験

### 611回 ～心もお腹也大満足～

6月30日(日)に、いなば田んぼの学校「施設見学会&親水カヌー体験」に参加しました。

八栄島第一揚水機場・ファームポンドについての学習や、親水カヌー体験、さらには、AEDを使った救命講習会が行われました。



八栄島第一揚水機場見学



救命講習会



親水カヌー体験



最後は美味しいカレー & クイズ大会

盛りだくさんの体験会や、お昼ご飯の大盛りカレーで心もお腹也大満足でした。

## メダカの引っ越し

### 612回 ～田んぼから保全池へ～

7月19日(金)に、庄内町家根合地域のメダカ保全活動の一環として、メダカの引っ越しが行われました。

6月に約300匹のメダカを田んぼへ放流しましたが、田んぼはこれから中干しの時期に入るため、田んぼにいるメダカを排水路に逃がし、その排水路にいるメダカを捕まえ、保全池に移します。メダカは産卵により数が大きく増えるため、たくさんのメダカを捕まえることができました。

引っ越しには、幼稚園児やふれあいホーム家根合の子供たち、家根合地域の方々など約50名が参加しました。



メダカの一部は、お手伝いをした子供たちにプレゼントしました。

10月には、メダカを放流した田んぼで育ったメダカ米の稲刈りが予定されています。大きく育っているか楽しみです。

## 笹川わくわく川遊び

### 613回 ~とても暑い日でした~

7月25日(木)に、地域資源の維持保全や地域住民から理解と認識を深めてもらうため設立された笹川土地改良区「水土里ネット推進委員会」主催のわくわく川遊びが開催されました。このわくわく川遊びは、子供たちに水に親んでもらうことを目的に、平成16年から毎年開催されています。

今年は、鶴岡市泉保育園の園児約20名が参加しました。



ペットボトルイカダ



プール遊び



おもちゃすくい



泉保育園の園児によるお礼の踊り

ペットボトルイカダ乗り、プール遊び、おもちゃすくい、水鉄砲遊びなどが用意され、一番人気はプール遊びでした。

気温が高い日だったので、気持ちよさそうでした。

川を横断するペットボトルイカダ乗りは、園児の顔が少しこわばっていたような。。。

わくわく川遊びが終わると、園児による感謝の園歌と踊りの披露がありました。

暑さに負けない大声と元気のよい踊りで、スタッフみんなの疲れもとれました。

スタッフの皆様、保育園の先生方、暑い中ご苦労様でした。

## ふじしま夏まつり『魚のつかみどり』

### 614回 ～水辺の大切さを再認識～

8月4日(日)に、ふじしま夏まつりが開催され、イベントの一つ水土里ネットいなば主催の『魚のつかみどり』にスタッフとして参加してきました。

当日は、余目中学校の生徒や鶴岡市、国営事業所や山形県の職員などがスタッフとしてお手伝いをしました。



まずは、ブラシで水路の底を磨きます



最後に、小石が落ちていないか確認です



未就学児童の部門は、金魚です



水路が埋まるほど人が集まりました

魚のつかみどりを実施した水路は、赤川から取水した水を、農業用水として運ぶ大事な水路です。

さらに、地域の方々が気軽に水と親しむことのできる水路として、地域の重要な役割を担っています。

魚のつかみどりでは、地域の大切な資源「水辺」の大切さを再認識することができました。

## 『農楽里norari』vol.33配信

### 615回 ～2019夏号 配信しています～

元気な農山漁村をつかっていきたい。農山漁村の自然や景観の保全活動に関わりたい。農楽里(norari)は、農山漁村づくりに関心のある方、参加してみたい方、すでに参加している方を対象に、県内各地の地域情報を発信し、新たなコミュニケーションの場づくりを提供する職員手作りの情報誌です。

【最新号】vol.33 2019夏号は、山形県農林水産部農村計画課のHPで配信されており、ご覧になることができます。

やまがたの農山漁村づくり情報マガジン「農楽里(norari)」

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140017/norari.html>



今回の特集は、『令和の農業はこうなる』

近年、活用が注目されているスマート農業の他、最新農業技術の活用事例を紹介しています。

庄内からは、株式会社まいすたあの事例を掲載しています。

また、庄内の観光地 由良の地域活動も掲載しています。

詳しくは、農楽里をご覧ください。

## 飛島ボランティア(7回目)

### 616回 ～飛島農免農道側溝泥上げ～

9月6日(金)に、庄内総合支庁農村計画課、農村整備課職員有志による、恒例の飛島地区の農免農道側溝の泥上げボランティア活動を行いました。

この農道は、農業農村整備事業(農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業)で整備されたもので、完了から20年余りが経過しています。

平成24年から始めたボランティア活動は、今回で7回目。これまで延べ110名程の職員が参加してきました。



一列に並んで泥上げ



今回は9名が参加

今回は、農道の約3分の1の区間の泥上げをしました。これからも引き続き、農道清掃ボランティアを続けていきたいと思えます。



617回 ～黄金色に輝く庄内平野～

今日は、酒田市広野地区の稲の生育状況を視察してきました。  
一面に広がる黄金色の稲。  
もうすぐ稲刈りでしょうか。



## いなば田んぼの学校稲刈り体験

### 618回 ～稲刈り体験に参加しました～

9月15日(土)に、水土里ネットいなば主催の「いなば田んぼの学校 稲刈り体験」が開催されました。

たくさんの方が参加し、昔ながらの手作業による刈り取りとくい掛けを行いました。



まずはベテランスタッフのお手本披露      くい掛けまで全て手作業で頑張りました

作業が終わった後は、つや姫、雪若丸、ゆめぴりかの3種類のおにぎり。醤油、味噌、塩の3種類の芋煮をそれぞれ食べ比べました。

稲刈りと美味しい昼食で、収穫の秋を満喫することができました。

## 基幹水利施設保全管理技術向上研修会

### 619回 ～ポンプの分解・点検を体験～

9月20日(金)に、山形県土地改良事業団体連合会主催の、基幹水利施設保全管理技術向上研修会が開催されました。

庄内町の十六合揚水機場のポンプを実際に分解し、ポンプの仕組みや点検方法を学びました。



故障ないように長く使用していく為には、適正な維持管理をしていくことが重要だと感じました。

## やまがたの棚田20選「暮坪棚田」の稲刈り体験

### 620回 ～海を眺めながら稲刈り体験～

9月22日(日)に、やまがたの棚田20選に選ばれ、唯一海が見える「暮坪の棚田」で稲刈り体験会が行われました。

台風の接近により、天気は良くはありませんでしたが、棚田から眺める日本海は絶景でした。



地区の子供たちは、慣れた手つきで稲を刈っていました。